

# 平成 31（令和 1）（2019）年度事業報告

公益財団法人阿蘇グリーンストック

## 一、各事業報告

### 1 自然保全事業（公 1）

#### 【草原保全活動】

##### （1）野焼き・輪地切り支援活動

草原保全活動センターを拠点とし、野焼き・輪地切り支援活動等の草原保全活動について、グリーンストック運動の最も重要な事業（活動）として取り組みました。

安全管理の徹底を図るために、地元牧野組合にも協力していただき、引き続き現場での作業前の注意事項の伝達等、参加者への安全面での周知徹底を行いました。

年間の支援牧野数は 70 件で、延べ 2,255 名の参加がありました。参加者が昨年より減少しているのは、輪地切りでは、各牧野で防火帯の整備が進んでいること、野焼きでは天候の影響で延期が多かったこと、2月の新型コロナウイルスの発症などがあり昨年より延べ 452 名の減となっています。特に野焼きにおいては、地元の支援要請人数に対して 6 割程度の参加状況でした。

野焼き再開については、南阿蘇村の 2 カ所（中松牧野：草千里、白川牧野）で取り組みました。

詳細は下記のとおりです。

##### ① 輪地切り・輪地焼き支援活動期間

- ・実施時期：2019 年 8 月 31 日～2020 年 4 月 11 日（3 月予定が延期のため 4 月実施）
- ・実施場所：阿蘇地域市町村 92 カ所（47 牧野）
- ・派遣人数：延べ 1,293 名

阿蘇市（舞谷、二塚 他合計 22 牧野）	延べ 752 名
南小国町（慈門坊、田の原 他合計 6 牧野）	延べ 107 名
高森町（上在、村山 他合計 8 牧野）	延べ 205 名
南阿蘇村（なわす、長野 他合計 5 牧野）	延べ 163 名
小国町（縦木牧野）	13 名
西原村（鳥子、出ノ口、宮山牧野）	延べ 33 名
山都町（柳谷、柳牧野）	延べ 20 名

##### ② 野焼き支援活動期間

- ・実施時期：2020 年 2 月 2 日～5 月 2 日（3 月予定が延期のため 4、5 月実施）
- ・実施場所：阿蘇地域市町村 70 カ所（58 牧野）

・派遣人数：延べ 962 名	
阿蘇市（舞谷、二塚 他合計 31 牧野）	延べ 458 名
南小国町（慈門坊、田の原牧野 他合計 9 牧野）	延べ 143 名
高森町（上在、村山牧野 他合計 7 牧野）	延べ 181 名
南阿蘇村（下碓、長野牧野 他合計 4 牧野）	延べ 87 名
小国町（縦木、小藪）	延べ 32 名
西原村（鳥子、大切畑、宮山）	延べ 36 名
産山村（竹の畑）	10 名
山都町（柳谷）	15 名

## （２）研修会の開催等

野焼き・輪地切り支援活動について、引き続き安全管理の強化のための講習会、研修会等を開催しました。また、ボランティア会員の増員に向けて草原保全活動センターを活用し、夏の時期に研修会を開催するなど強化してきました。会員登録は 2020 年 3 月末現在 1000 名を超えています。

### ① 野焼き支援ボランティアリーダー全体会の開催

第 1 回	(2019. 4. 27)	参加者 39 名
第 2 回	(2019. 8. 24)	参加者 39 名
第 3 回	(2019. 12. 14)	参加者 38 名
第 4 回	(2020. 1. 25)	参加者 33 名

### ② 刈払機安全講習会の開催

第 1 回	(2019. 8. 31)	参加者 35 名
第 2 回	(2019. 9. 8)	参加者 19 名

### ③ リーダー養成研修会

第 1 回	(2019. 7. 28)	参加者 2 名
-------	---------------	---------

### ④ 初心者研修会

第 1 回	(2019. 8. 25)	参加者 33 名
第 2 回	(2020. 1. 26)	参加者 53 名
第 3 回	(2020. 2. 8)	参加者 77 名
第 4 回	(2020. 2. 11)	参加者 72 名
京都精華大	(2019. 2. 6)	参加者 3 名

合計 238 名参加

### ⑤ 火引き研修会

第 1 回全体研修会	(2019. 12. 11)	参加者 15 名
第 2 回実技研修会	(2020. 2. 2)	参加者 35 名
第 3 回実技研修		
榎木野南牧野（阿蘇市）	(2020. 4. 4)	参加者 22 名
竹の畑牧野（産山村）	(2020. 3. 21)	参加者 24 名

祭場牧野	(高森町)	(2020. 3. 24)	参加者 33 名
下磧牧野	(南阿蘇村)	(2020. 2. 11)	参加者 41 名
小森牧野	(西原村)	(2020. 3. 15)	参加者 56 名

### (3) 活動時のボランティア宿泊支援

活動時のゆたっと村宿泊に関しては低価格(一般ボランティア 1泊 700 円+光熱費)にて提供し、遠方より参加の場合や、ボランティア開始時間が早いため、移動中の自動車事故防止のためにも利用していただいています。今年度は延べ 334 名(昨年比 90 名増)の利用がありました。

### 【森づくり活動】

水源涵養の森づくり活動については、連携企業・団体の方々と共に、これまで植林してきた広葉樹の森の下草刈りや枝打ち作業を行いました。

4 月 14 日 (日)	西陵ロータリークラブ	24 名参加
5 月 11 日 (土)	コカ・コーラボトラーズジャパン	47 名参加

### 【普及啓発活動】

野焼き支援活動の情報発信及び草原保全への普及・啓発活動について下記の様に取り組みを行いました。

#### (1) 阿蘇草原の野焼き活動のための入門セミナーin 福岡・野焼き見学会の実施

- ・「草原保全・再生セミナーin 福岡」
- ・実施日 2020 年 1 月 19 日 (日) 49 名参加  
2 月 1 日 (土) 49 名参加
- ・実施場所 アクロス福岡 (福岡市)
- ・内容
  - ① 草原の機能、草原保全の仕組みの研修のためのセミナー
  - ② 来春の野焼き体験企画を紹介し、参加を募り支え手拡充に繋げる
- ・2 月 22 日 (土) に町古閑牧野で、セミナーを受講された 80 名の方が野焼き見学ツアーに参加予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

#### (2) ASO 草原フェスティバル 2019 の開催

1. 日時 2019 年 11 月 24 日 (日) 午前 10 時半～午後 3 時
2. 場所 草原保全活動センター敷地内及び館内
3. 参加者 約 500 名
4. 内容 阿蘇の草原の重要性を発信すると同時に草原保全活動の周知のために関係団体と連携し、バザー(飲食、農産品、加工品など地元産品)、草原体験(草泊づくり、草原散策など)各種体験(クラフト、VR など)を実施しました。また、地元の方を中心に阿蘇草原保全活動センターの紹介と今後利用して頂けるよう呼びかけを行いました。

(3) 野焼き支援ボランティア 20 周年記念事業の開催

1. 目的

- ① 野焼き支援ボランティア活動 20 周年の節目にあたり、これまでの活動をふり  
返りながら、会員相互の親睦を図るとともに、今後の発展のために取り組みま  
した。
- ② 阿蘇の草原を守っていこうという趣旨や、この活動の楽しさやすばらしさを家  
族・地域住民等多くの方にアピールし、賛同者(仲間)の拡大につながるよう呼  
びかけをしました。

2. 主催：野焼き支援ボランティアの会・公益財団法人阿蘇グリーンストック

3. 日時：2019年5月12日(日曜日) 10時～15時

4. 場所：阿蘇草原保全活動センター

5. 参加者：野焼き支援ボランティアの会会員及び家族、友人、支援先牧野組合及  
び関係団体機関、一般地域住民など約1,500名の参加

(4) 「阿蘇の世界文化遺産登録を目指して」阿蘇世界文化遺産登録推進九州会議シン  
ポジウム in 熊本 (出席者 203 名)

1. 概要は以下のとおりです。

- ・熊本県より世界文化遺産の制度概要や阿蘇地域の登録に向けたこれまでの取り組  
み、本年3月に文化庁へ提出予定の阿蘇世界文化遺産登録に関わる提案書につい  
て説明がありました。
  - ・次いで、阿蘇世界文化遺産学術委員会委員の西山徳明教授より、ご自身の阿蘇と  
の関わりや阿蘇カルデラの文化遺産としての価値について講演を頂きました。
  - ・最後に、阿蘇草原再生千年委員会坂本委員長をコーディネーターに、有識者でパ  
ネルディスカッションを行い、世界文化遺産登録に向けた今後の取り組みについ  
て意見交換がありました。
2. 参加された方から、大変分かり易かったので阿蘇地域の住民の方にも是非紹介し  
てほしいとの意見がありました。
3. 福岡市でのシンポジウムも予定されていましたが、新型コロナウイルスの影響で  
中止となりました。

※ 公1の収支決算は次の通りです。

科目	金額(単位:円)	備考
活動会員受取会費	1,499,500	野焼き支援ボランティア会費
自然保全事業収益	20,020,190	草原保全システム(1590万)、 キリン絆P(150万)世界農業遺産 推進協会(50万)森づくり,研修 他事業(212万)
ゆたっと村利用事業収益	208,000	ボランティア活動時の宿泊費

受取補助金等	12,697,616	阿蘇草原再生募金助成金(330万) 大東建託みらい基金(71万) 農業 遺産(50万) 熊本県(250万) 多面的機能支払(569万)
受取寄付金	3,190,942	グリーンコープ草原ハンバーグ (50万)、熊本トヨタ(75万)、 松合食品(30万) コカ・コーラ いろはすプロジェクト(70万)、 江藤建設(50万)、GSC(4万)、 日本ユネスコ(10万) ナショトラ (1万)、九建運送(10万) キリ ン絆、個人他(14万) 村山牧野(5 万)
収入合計	37,616,248	

人件費計	15,006,067	
物件費計	23,044,059	
支出合計	38,050,126	

(収入) 37,616,248 円 - (支出) 38,050,126 円 = △433,878 円

## 2 自然体験・農業体験学習事業(公2)

### (1) 農村体験型修学旅行受入事業(ファームステイ)

子どもたちが一般の農家に民泊し、阿蘇の農村での生活や様々な農業体験を通して農業・農村の大切さを学び、自然や人とのふれあいを大切にした体験企画などで、青少年の健全な育成を目指すことを目的に取り組みを行いました。熊本地震の影響で受入校の低迷が続いていますが、問い合わせが少しずつ増えています。

阿蘇市、南小国町、南阿蘇村、西原村、高森町の約80軒の受け入れ家庭の方と安全講習会・衛生講習会などを経て中・高校生の農村民泊及び農業体験学習などの受け入れを行いました。

2020年の1月末に新型コロナウイルスが問題となり、受入家庭より対策が講じられ、受入をしばらく見合わせる事となりました。

ファームステイの実績は次の通りです。

日付	団体名	人数 (宿泊)	体験のみ	備考
5月15日	岡山市立福浜中学校	233		
6月17日	台湾(高雄)小学校	27		台湾
8月18日	世界農業遺産PR	3		香港(一般)
9月13日	佐世保市立江上小学		46	
9月13日	福岡教育大学附属福岡中学校		11+16	
11月5-6日	慶應義塾横浜初等	105*2泊		2泊
11月6日	京都精華学園中学校	45		
11月7日	京都府立大江高等学校	49		
11月20日	ハートランドジャパン	15*2泊		スウェーデン2泊(一般)

日付	団体名	人数 (宿泊)	体験のみ	備考
11月20日	大阪府立今宮工科高等学校	19	2	
12月9日	世界農業遺産	2		香港(一般)
1月8日	重慶行知游学園	21		中国
2月14日	延岡ふるさと協議会	10		(一般)
小計	13団体	649	76	

下記の3件は、新型コロナウイルスによる影響で延期(未定)またはキャンセルとなりました。

3月予定	中国青年公共事業交流団(中国)	34名	延期
3月予定	成城中学校(東京)	91名	延期
3月予定	ハートランドジャパン(スウェーデン)	17名*2泊	キャンセル

## (2) 環境教育及び農業体験事業

将来の阿蘇を担っていくことになる地元の子供たちをはじめ、都市の子供たち、また高校生、大学生、団体へ、草原トレッキングやクラフト体験などを含め様々な自然・農業体験プログラム等の企画を通じ環境教育について取り組みました。

また、阿蘇市の事業で情報館を窓口とした体験プログラムの提供、草原観察、草原データベース作成にも取り組んでいます。

●地元小学生の草原環境・体験学習は以下の通りです。(14校実施)

NO	市町村	実施校	テーマ	学年	人数	
1	阿蘇市	阿蘇小学校	野焼きのあとを見てみよう 草原の生きものについて学ぼう	6	41	6月10日
			あか牛について学ぼう	6	42	6月12日
			草原の生きものについて学ぼう 草原のススキで野草紙を作ろう(ススキ刈り)	6	41	10月17日(木)
			草原のススキで野草紙を作ろう(紙漉き)	6	42	R2年1月30日(木)
			阿蘇火山・草原のなりたち 草原観察	5	49	12月3日(火)
			野焼きについて学ぼう(事前学習)	5	49	2月18日(火)
			野焼きについて学ぼう(野焼き体験)	5	49	コロナで中止
2	阿蘇西小学校	熊本市動植物園連携 草原と水のつながり 草原の生きものについて学ぼう	5	18	10月8日(火)	
			6	24		
3	一の宮小学校	草原が育んだ文化について学ぼう あか牛と草原について学ぼう 野焼きについて学ぼう(事前学習)	4	59	10月4日(金) ~5(土)	
			4	59	1月16日(木)	
			4	59	R2年2月10日(月)	
4	内牧小学校 R1学習発表会参加校	草原について学ぼう(場所:内牧小学校) 阿蘇のカルデラと草原のなりたちについて学ぼう 草泊まり作り(新宮牧野)	4	59	8月29日(木)	
			4	59	9月10日(火)	
			4	59	10月8日(火) 10月9日(水)	
5	南小国町 りんどうヶ丘小学校 R1学習発表会参加校	草原について学ぼう(大観峰) 草原の夏の生きものについて学ぼう 草原の秋の生きものについて学ぼう 野焼きについて学ぼう(事前学習)	3,4	13	5月10日(金)	
			3,4	13	7月8日(月)	
			4	13	9月13日(金)	
			4	13		
6	産山村 産山学園義務教育学校	草原について学ぼう(事前学習) 草原の生きものについて学ぼう 草原のススキで野草紙を作ろう(ハガキ)	4	9	9月10日(火)	
			4	9	9月12日(木)	
			4	9	10月24日(木)	

7	高森町	高森中央小学校 H30 学習発表会 参加校	草原でオオルリシジミと自然観察	4	43	5月15日(水)
			野焼きについて学ぼう(事前学習)	4	43	1月22日(水)
			野焼きについて学ぼう(野焼き体験)	4	43	2月21日(金)
8		高森東学園義務 教育学校	草原でオオルリシジミと自然観察	4	4	5月27日(月)
			野焼きについて学ぼう(野焼き体験)	4	4	1月22日(木)
			野焼きについて学ぼう(野焼き体験)	4	4	2月21日(金)
9	南阿蘇村	白水小学校	草原の生きものについて学ぼう(オオルリシジミ)	3		
10	蘇村	中松小学校	草原の生きものについて学ぼう(オオルリシジミ)	2		
11	西原村	山西小	草原の生きものについて学ぼう()	3	53	10月1日(火)
12		河原小	草原の生きものについて学ぼう()	3	9	10月1日(火)

草原学習導入：草原学習館・阿蘇山上ビジターセンター利用校

13	小国町	小国小学校	阿蘇の草原についての学習とクラフト体験	4	46	10月9日(水)
14	南小国町	市原小学校	阿蘇の草原についての学習	4	15	10月30日(水)

### (3) ゆたっと村での体験事業

修学旅行生、地元団体、一般の方などを対象に、ゆたっと村里山交流館の周辺の農地、山林等を利用した里山の暮らしの体験の提供については、国道57号線の道路状況の影響もあり修学旅行などの団体利用、家族などの一般利用がなかなか震災前の状況に戻らない様子にあります。

公2の収支決算は次の通りです。

科目	金額(単位:円)	備考
村民受取会費	157,500	村民会費(52名)
自然体験・農業体験学習事業収益	5,231,927	民泊・体験受け入れ(223万)、阿蘇市草原観光拠点づくり(300万)
ゆたっと村体験事業収益		
公園受託管理	150,000	阿蘇市
収入合計	5,539,427	
人件費計	3,063,120	
物件費計	2,751,685	
支出合計	5,814,805	

(収入) 5,539,427円 - (支出) 5,814,805円 = △275,378円

## 3 調査・研究事業(公3)

北外輪地区湿地に於ける生物多様性保全事業に引き続き取り組み、各機関・団体の許可を得て希少植物の育苗を行いました。また、草原散策ツアー企画の準備として草原学習のための映像制作及び草原ガイド養成カリキュラムの作成に取り組みました。

昨年に続き、草資源の利活用の一つとして茅ぶき屋根材として茅を利用するために、牧野及び供給先の調査を進めています。

公3の収支決算は次の通りです。

科目	金額 (単位:円)	備考
事業収入	4,999,960	阿蘇市フィールドミュージアム構 想実践事業 (250万) 世界農業遺産 (50万) 観光拠点づくり (200万)
収入合計	4,999,960	

人件費計	1,009,188	
物件費計	4,357,368	
支出合計	5,366,556	

(収入) 4,999,960円 - (支出) 5,366,556円 = △366,596円

#### 4 あか牛オーナーへのあか牛肉販売事業 (収1)

阿蘇の草原を守るためには、阿蘇の草原を利用した畜産業の発展が最も有効な手段となります。独特な事業として阿蘇のあか牛の増頭又は維持に向けた畜産農家への支援のために県内外の方へオーナーへの参加を呼び掛けました。

##### ①あか牛オーナー制度について

2019年度新規契約オーナー数	15名 (あか牛 13頭)
2019年度オーナー数	27名 (あか牛 28頭)
合計	42名 (あか牛 41頭)

受入牧野のエリアに関しては、阿蘇市、南小国町、南阿蘇村、高森町に及んでいません。また、オーナー代表者会議を年2回、交流会を年2回開催しています。

オーナー交流会の開催	6月 1日 (土)	59名参加
		牛に名前書き、バーベキュー交流会
	10月 26日 (土)	14名参加
		芋掘り体験、バーベキュー交流会

##### ②あか牛肉販売について

あか牛オーナー制度 (オーナーより1頭につき30万円を預り金扱いとし、30万円を畜産農家へ繁殖牛購入資金として無利子で貸し出す) については、年間6万円を目途にオーナーの申込みに応じてあか牛肉を5年に亘ってお届けするものです。

収1の収支決算は次の通りです。

科目	金額 (単位:円)	備考
活動会員受取会費	99,000	
事業収益	2,412,450	あか牛肉他の利用
雑収入	123,650	保冷箱、保冷剤代
収入合計	2,635,100	

人件費計	269,539	
物件費計	2,319,656	
支出合計	2,589,195	

(収入) 2,635,100 円 - (支出) 2,589,195 円 = 45,905 円

## 5 食事提供及び農産物の販売等事業（収2）

団体や個人によりゆたっと村の宿泊利用、また、あか牛肉の利用普及のために、ゆたっと村でバーベキューの提供を行いました。更に、地元農産物の販売を道の駅で委託販売などを行いました。昨年より利用人数、利用高共に増加しています

① 宿泊での利用は以下の通りです。

・ 宿泊利用 129 名 (昨年 152 名、23 名減)

② 農産物の収穫・販売をしました。(昨年 14 万円の売上、4 万円減)

・ 椎茸 ・ 落花生 ・ 栗 ・ ブルーベリー ・ さつまいも ・ 梅

収2の収支決算は次の通りです。

科目	金額 (単位: 円)	備考
事業収益	1,112,910	宿泊・体験 (33 万)、BBQ (69 万)、農産品 (10 万)
雑収入	505,190	九電賃料、減反奨励金
収入合計	1,618,100	

人件費計	566,708	
物件費計	860,371	
支出合計	1,427,079	

(収入) 1,618,100 円 - (支出) 1,427,079 円 = 191,021 円

## 6 受託調査事業（収3）

阿蘇草原再生野草地環境保全計画調査事業（環境省、通称「牧野カルテ」）について、阿蘇草原再生協議会会員で国立公園内の牧野組合を対象とした環境省による調査事業で、草原文化（草原の活用、地名、希少動植物等の調査）及び草原再生（野焼き作業軽減の為に防火帯整備等の調査）の調査に取り組みました。

今回の調査対象牧野は、いずれも阿蘇市で二区育成、融和、二区坂下の3牧野の調査を行いました。

収3の収支決算は次の通りです。

科目	金額 (単位: 円)	備考
事業収益	10,120,000	環境省入札
収入合計	10,120,000	

人件費計	3,784,515	
物件費計	5,942,911	
支出合計	9,727,426	

(収入) 10,120,000 円 - (支出) 9,727,426 円 = 392,574 円

## 7 受託管理事業 (収4)

### (1) 事業の内容

環境省の「草原学習館」及び阿蘇市の「草原情報館」の2つの施設管理を受託し、それぞれ下記のような施設概要で、連携して管理運営にあたりました。主には財団で施設、警備、清掃、日常管理、総合窓口、来客者対応、案内、展示物管理、情報提供ホームページ管理等を行ってきました。2月より新型コロナウイルスにより利用制限がありました。

- ・ 草原学習館来館者・利用者数 9,020名 (昨年7,051名 1,969名増)
- ・ 草原情報館来館者・利用者数 7,327名 (昨年5,424名 1,903名増)

### (2) 施設の概要

#### ①環境省「草原学習館」

- ・ 規模：建築面積 806.28 m<sup>2</sup>、延床面積：684.37 m<sup>2</sup>
- ・ 構造：木造平屋建て
- ・ 機能：レクチャールーム、展示、屋外作業スペース、事務室、トイレ、倉庫
- ・ 駐車場：普通車 33 台、身障者用 1 台、大型バス 2 台

#### ②阿蘇市「草原情報館」

- ・ 規模：建築面積 729.48 m<sup>2</sup>、延床面積：648.07 m<sup>2</sup>、広場：1,200 m<sup>2</sup>
- ・ 構造：木造一部鉄骨造平屋建て
- ・ 機能：ワークスペース、事務室、オフィス、トイレ、倉庫、駐輪場
- ・ 駐車場：普通車 71 台、身障者用 2 台、大型バス 2 台

収4の収支決算は次の通りです。

科目	金額 (単位：円)	備考
受託管理事業収入	8,742,682	草原学習館725万、草原情報館149万
収入合計	8,742,682	

人件費計	4,868,512	
物件費計	3,329,718	
支出合計	8,198,230	

(収入) 8,742,682 円 - (支出) 8,198,230 円 = 544,452 円

## 7 法人会計

月次決算等、会計処理については公認会計士に委託して運営しました。

法人会計の収支決算は次の通りです。

科目	金額 (単位: 円)	備考
基本財産運用益	400,000	
維持賛助会費	2,762,000	個人会員 74 名 (22 万円) 団体会員 56 企業団体 (254 万円)
雑収入	900,446	農泊推進 (30 万) 講師・執筆報酬、 費用弁償 (60 万)
収入合計	4,062,446	

人件費計	1,000,903	
物件費計	2,221,129	
支出合計	3,222,032	

(収入) 4,062,446 円 - (支出) 3,222,032 円 = 840,414 円

## 二. 2019 年度収支決算について

(1) 上記のとおり事業全体としての経常利益は

(収入) 75,333,963 円 - (支出) 74,395,449 円 = 938,514 円  
となります。

(2) 公益事業比率は、49,231,487 円 ÷ 74,395,449 円 = 66.18%  
となります。

<別紙決算報告書参照>